

○議長（吉田敏郎）

続きまして、議案第19号 令和2年度開成町水道事業会計予算の細部説明を担当課長に求めます。

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

それでは、予算書の243ページをお開きください。議案を朗読させていただきます。

議案第19号 令和2年度開成町水道事業会計予算。

総則、第1条、令和2年度開成町の水道事業会計予算は、次に定めるところによる。業務の予定量。第2条、業務の予定量は、次のとおりとする。

第1号、給水装置個数7千975個。

第2号、年間総給水量、200万2千200立方メートル。

第3号、1日平均給水量、5千485立方メートル。

第4号、主な建設改良事業費、2億1千899万8千円。イ、拡張事業費、400万円、ロ、増設改良事業費、2億1千499万8千円。

収益的収入及び支出。第3条、収益的収入及び、支出の予定額は次のとおりと定める。

収入、第1款水道事業収益、2億6千632万7千円。

第1項営業収益、2億4千130万5千円。

第2項営業外収益、2千502万2千円。

支出、第11款水道事業費用、2億6千632万7千円。

第1項営業費用2億408万7千円。

第2項営業外費用、1千742万円。

第3項予備費、4千481万9千円、第8項、特別損失1千円。

資本的収入及び支出、第4条、資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2億1千364万3千円は、過年度損益勘定留保資金1億9千752万3千円、当年度分資本的収支調整額1千612万円で補填するものとする。）

収入、第2款資本的収入、7千201万7千円。第1項分担金、2千223万円、第2項負担金478万7千円、第5項企業債、4千500万円。

支出、第12款資本的支出、2億8千566万円。第1項建設改良費、400万円、第2項増設改良費、2億1千499万8千円。第3項企業債償還金、6千366万2千円、第4項予備費、300万円。

次のページをお開きください。企業債、第5条、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的、配水施設整備事業、限度額4千500万円、起債の方法、利率、償還の方法は記載のとおりでございます。

一時借入金、第6条、一時借入金の限度額は、2千万円と定める。

議会の議決を経なければ流用することができない経費、第7条、次に掲げる経費については、その経費の金額をそれ以外の経費の金額に流用し、又は、それ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

第1号、職員の給与、3千454万5千円。

たな卸資産の購入限度額、第8条、たな卸資産の購入限度額は、1千59万1千円と定める。

令和2年3月3日提出、開成町長、府川裕一。

それでは、別冊の開成町歳入歳出予算説明資料の78、79ページをお開きください。

歳入です。収益的収入、水道事業収益、営業収益、給水収益の水道使用料は、7千975件を見込んでおります。

受託工事収益の給水工事加入金は、156件を見込んでおります。

その他の営業収益の手数料は、給水工事設計審査、開始・中止、給水工事指定申請、給水工事指定再交付、閲覧交付手数料と下水道料金徴収の手数料を見込んでおります。

2段飛ばしまして、他会計負担金、他会計負担金は、消火栓の374基の管理費を計上しております。

4段飛ばしまして、資本的収入です。資本的収入分担金の配水管布設分担金は、下水道工事に伴う配水管布設替工事に係る負担金です。負担金の他会計負担金は、消火栓更新工事14カ所に係る負担金です。

次の80、81ページをお願いいたします。歳出になります。収益的支出です。水道事業費用、営業費用の原水浄水配水及び給水は、安全な水道水供給をするための水質検査や、浄水場施設の維持管理、休日、夜間の漏水に対応するための漏水当番の経費や、給排水管の維持管理を行うものです。

1段飛ばしまして、総係費です。テレメーターによる浄水施設の監視や、水道ビジョンの策定業務委託、企業会計システムの保守料でございます。

3段飛ばしまして、営業外費用の支払利息は、水道事業債の49件分です。

4段飛ばしまして、資本的支出になります。資料の後ろに、資料3として、上水道工事の箇所を添付してあります。説明とあわせて参照していただきたいと思います。

資本的支出、建設改良費は、配水管布設工事の1件でございます。

増設改良費の配水施設整備工事費は、下水道工事に伴う配水管布設替工事4件と耐用年数が過ぎた古い管配水管更新工事や、消火栓の更新工事14件、令和元年から実施しております、中央監視装置更新工事の第2期工事でございます。

榎下浄水場の配水ポンプの更新工事や、榎下浄水場配水池耐震補強工事等を行うものでございます。

恐れ入りますが、予算書にお戻りいただきたいと思います。予算書の251ページをお願いいたします。令和2年度開成町水道事業予定キャッシュフロー計算書です。

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの予定でございます。

1の営業活動によるキャッシュフローでございます。

(1) 当年度純利益は、2千467万7千850円を見込んでおります。

2の営業活動から得た現金預金への当年度純利益の調整、イからホまでを加えた、1億3千998万7千376円に、受取利息及び配当金受入額、支払利息及び企業債取扱諸費の支払額を加えた営業活動から得た現金預金(純額)は、1億2千276万8千376円となります。

次に投資活動によるキャッシュフローです。(1)の固定資産の取得による支出、建設改良から(6)の投資活動に伴う現金預金の調整まで、投資活動から得た現金預金(純額)は、マイナス1億7千835万5千456円となります。

次に財務活動によるキャッシュフローです。1の企業債の発行と、2の企業債償還の合計が、財務活動から得た現金預金(純額)となり、マイナス1千866万2千円となります。

4の現金預金及び現金等価物増加額・減少額は、マイナス7千424万9千80円となり、5の現金預金及び現金等価物期首残高、4億9千128万3千165円を加えた、6の現金預金及び現金等価物期末残高は、4億1千703万4千85円となります。

次の252ページから266ページにかけましては、一般会計に準じた給与明細と公営企業会計における財務諸表を記載しておりますが、説明は省略させていただきます。

説明は以上でございます。

○議長(吉田敏郎)

以上で、議案第19号 令和2年度開成町水道事業会計予算の説明を終了します。